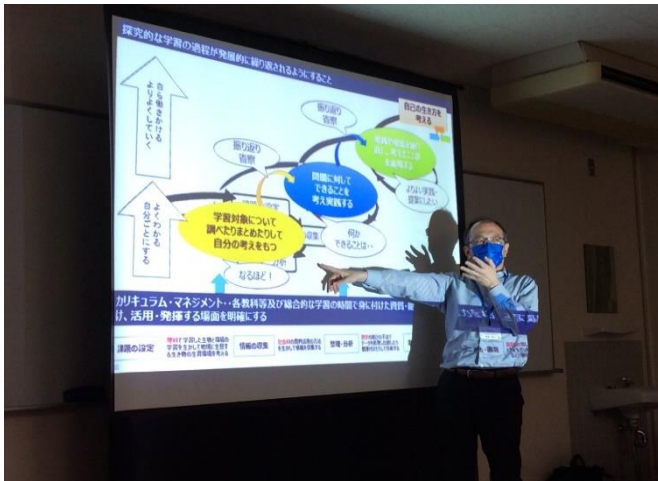


校内研修では、『生活科と総合的な学習の時間における単元構想と学習評価について』というテーマで、佐伯教育事務所の後藤竜太指導主事に講義をしていただきました。

学校教育目標の具現化に向けて、総合的な学習の時間において目標を実現するにふさわしい各学年・各学級の探究課題を設定し、単元を構想し、単元計画を作成する基本的な手順を教えていただきました。そして、今年度実践しようとしている単元についてウェビングによる教材研究をしたり、作成段階での悩みを出し合って解決に向けて協議したりしました。大分県教育庁義務教育課・総合的な学習の時間担当の友永有司指導主事には、先生方の協議の様子を見て助言をいただきました。

附属小・中学校では、9年間を見通して子どもたちを育てるという視点を常に持っています。今回も、体育祭前の忙しい時期ではありましたが、中学校の先生方にも参加していただいて、具体的な子どもの姿から見取る学習評価まで共通理解することができました。



後藤指導主事の講義



生活科の協議に後藤指導主事も参加



友永指導主事は5年の協議へ助言



校長先生は中学校の協議に参加

<感想>

- ・資質・能力ベースで単元を組んでいくことがよく分かった。頭の使い方を変えていかないといけない。子どもの願い、子どもから出るであろう疑問を思考ツールを使って考えると整理しやすい。(小学校)
- ・大変いい講義で、学年部の総合担当にも参加して聞いてもらいたい講義だった。(中学校)